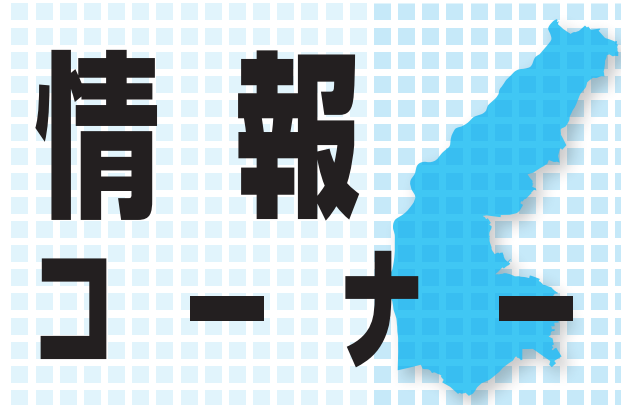


刈谷市の人口

2019.8.1 現在(前年同月比)

人口	男性	女性	世帯数
152,611人 (+1,027人)	80,075人 (+478人)	72,536人 (+549人)	66,781世帯 (+1,114世帯)



内 地域に住む外国人の皆さんと互いの文化紹介をし、交流する国際交流フェスタのボランティアを次の通り募集します。

▼準備ボラ：フェスタ開催日(12月15日(日))まで、外国人ボランティアと一緒に企画や発表準備を行います。

▼運営ボラ：フェスタ当日の運営、会場案内ほか

◆全体ミーティング
9月22日(日) 10時
社会教育センター1
35人

申問 ①ボランティアの種類、

KIFA V
国際交流フェスタ
ボランティア

募集

時 期間・日時	対 対象・資格	申 申込み・応募
場 場所・会場	定 定員・募集数	他 その他
内 内容	¥ 費用・受講料	問 問合せ
講 講師・指導	持 持物・服装	

※**図**どなたでも、**定**特になし、**¥**無料の場合は省略。
※あいち電子申請・届出システムは、一部のスマートフォンなどで利用できない場合があります。

内 総合文化センター
①会場設営、展示物の準備、アンケートの作成ほか、
②当日プログラム配布、会場管理、各種イベント運営補助、
会場案内ほか

定 20人(2日間とも参加できる人を優先に先着順)

申問 電話(62・1209)、
kokusai@katch.ne.jp
または直接、国際交流協会(休
月曜・祝日の場合は翌日)へ。



ナマステ☆インディア
in KARIYA
ボランティア

時 ①10月5日(土) 14時~16時
30分・②6日(日) 9時~17時30分

②氏名、③年齢、④電話番号を電話(62・1209)、
kokusai@katch.ne.jp または直接、国際交流協会(休
月曜・祝日の場合は翌日)へ。



第6回 森三郎童話賞全国募集

◆募集要項

テーマ 愛と夢と優しさ
※小学生が読める程度の日本語で未発表の創作童話

原稿 1編につき400字詰め原稿用紙縦書き25~30枚
※パソコンなどで作成する場合は、縦書き1枚につき20字×20行

入賞発表 令和2年9月下旬に入賞者のみに連絡
※入賞作品の著作権は市に帰属します。

賞・賞金 ▶最優秀賞1編…賞金50万円 ▶優秀賞1編…賞金10万円
▶佳作4編…賞金3万円 ※各賞には賞状と図書



▲第1~5回 最優秀賞受賞作品

※最優秀賞受賞作品は、単行本として刊行し、全国の公共図書館へ寄贈します。

審査員 浜たかや(児童文学作家)、藤真知子(児童文学作家)、宮川健郎(武蔵野大学文学部教授)

申 11月1日(金)から12月31日(火)(消印有効)までに、作品に郵便番号・住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、職業、電話番号、題名、募集情報入手先(①雑誌、②ホームページ、③チラシ、④その他)を記入した応募票(図書館HPからダウンロード可)を付けて郵送または直接、中央図書館 森三郎童話賞係(〒448-0852 住吉町4-1・休月曜(祝日の場合は翌日)、第4金曜、12月29日~31日)へ。

※募集情報入手先の①は雑誌名も④は情報入手先も記入してください。
※必要事項が記入してあれば、専用の応募票でなくても応募可
※ばらばらにならないように一カ所を留めてください。

問 中央図書館(☎25-6000)

森三郎の世界



▲「赤い鳥」時代の森三郎

森三郎は、新美南吉・平塚武二と並んで、雑誌「赤い鳥」出身の童話作家です。昭和初期、刈谷市で幼少時代を過ごした森三郎の周りには自然が満ち溢れていました。その自然は、時には優しく、時には厳しくもありましたが、家に帰れば母や兄弟がいつも温かく迎えてくれました。そうした環境に包まれ、感受性豊かに育った彼が7歳の時に出会った雑誌「赤い鳥」は、たちまち彼をとりこにし、童話の世界へと引き込んでいきました。彼の作品には、その頃の体験が息づいています。

いつまでも子どもの世界は愛と夢と優しさでいっぱいにしておきたいという彼の願いは、まだ幼き日の喜びや感動、不安や悲哀の思い出とともに描かれた童話の世界を通じて、読者に命のあるものへの限りない優しさを語りかけています。